

横浜高等工業学校 応援歌第一

- 一. 聴けや我等が雄々しき叫びを
弘陵健児のその自由の声は

^{ふずき}文月の空に^{こだま}弔して

金港の波高らかに歌うなり
奮え奮えいざやいざ奮え

- 二. 見よや英^{えいし}姿の颯^{さつそう}爽たるを

寄せ来る敵を打ち破るに何ぞ
大岡の原野に培われたる

男子よ起てよ剣を^と執る時なるぞ

奮え奮えいざやいざ奮え

- 三. 起てよいざ起て我らが健児

^{うだい}宇宙の^{もくし}黙示しかと身に秘めつつ

心の緒^{おごと}琴ただ一筋に

弘陵の萌ゆる若葉に報いずや
奮え奮えいざやいざ奮え